



お金と上手に付き合うために

ます。

これらのイベントへの応募状況や質疑の内容あるいはその後の参加者アンケートで寄せられた声をみると、このところ、お金や資産形成に関する市民の皆様の関心が少しずつ高まってきているように感じています。

当事務所は、北海道金融広報委員会の事務局メンバーとして、旭川市教育委員会を含む各行政機関や日本FP協会道北支部などとも連携しながら、お金に関する知識・判断力(金融リテラシー)の向上に向けて、様々な講演やイベントを行っています。

こうした変化の背景には、私たちが取り巻く様々な環境変化が考えられます。まず、人口動態を含めた社会的な変化です。「人生100年時代」とも言われるような長寿

社会が到来する中、人生を豊かに過ごすには、生涯を見据えた資産形成の重要性についての意識が高まっているということが挙げられます。また、若年層に目を転じると、昨年4月に、成年年齢が20歳から18歳へと引き下げられ、高校生の時期から自立した契約当事者としての判断や責任が問われるようになった点も見逃さず。

これらに加え、このころの投資環境の変化もあります。来月から新しいNISA(少額投資非課税制度)がスタートし

ます。その制度面への関心はもちろんですが、同時に、長期運用や複利効果、分散投資といった投資のイロハについても関心の高まりがうかがわれます。また、最近の物価上昇を踏まえ、自分にあった資産選択のあり方について、今一度考えたいというニーズもあるようです。

これらと並んで、金融商品・サービスが多様化・複雑化している現代においては、金融トラブルを回避しながら、上手に資産形成を行ううえで、知識や判断力が重要性を増しているとも言えるでしょう。

めには、様々な方法があります。書籍による学習はもちろんですが、旭川市内においても、セミナーや講演会といったイベントが開催されています。その中で、そうしたイベントに出席してみることも一つの選択肢です。

このほかオンラインでも無料でお金について学ぶことができます。「マネピタ」という動画講座もあります。この「マネピタ」は、「マネー」と「ピタミン」を組み合わせた造語です。日本銀行が事務局を務めている金融広報中央委員会(通称「知るぽると」)のほか、金融庁、消費者庁などの関係官庁や、様々な業界団体

が連携し、それぞれのスペシャリストが中立公正な視点からわかりやすく解説している点が特徴です。6分野・18タイトルで構成され、今年の10月に、NISAや確定拠出年金についての講義が拡充されました。各動画は1本あたり15分程度で、スキマ時間にスマホなどで手軽に視聴できますので、ぜひご活用いただければと思います。

さて、最後にもうひとつ。10月に旭川市で開催

した金融経済講演会に講師としてお迎えしたお笑いコンビのパックンマックンからは、「お金と上手に付き合うには、家族や周囲の人とよくコミュニケーションを取る大切」とのメッセージをいただきました。学習と並んで、誰かに相談すること、身近な人と将来設計について一緒に考えてみることも大切さを感じて、起こさせるものとして、大変印象的でした。

【足立祐一(あだちゆういち)】一九七三年、大分県出身。九州大学経済学部卒。金融市場局企画役、国産局企画役、ドイツ・フランクフルト事務所長、調査統計局地域経済調査課長を経て、二〇二三年、旭川事務所長に就任。

